

ワシントン大学短期英語プログラムに参加して

函館校 国際協働グループ 斉藤夕子

私は平成 29 年の 2/25 から 3/18 の 3 週間、ワシントン大学短期英語プログラムに参加して参りました。

↓ワシントン大学ビルの 22 階から



(1)プログラムで受講した授業に関する印象、コメント

シアトルに到着してから 3 日目に学校が始まり、最初はクラス分けのテストを受けました。テストと言うとどうしても身構えてしまいましたが、決して難しいものではなかったので、リラックスして受けることが出来ました。テスト後はネイティブの先生と面接が行われましたが、和やかな雰囲気の中で行われたので緊張することなく、私の稚拙な英語を一生懸命理解しようとしてくださったのが印象的でした。

授業は教科書を使って教室で行われたものと、美術館や図書館を訪問して行われたものがありました。教室で行われたものは、1 年生の時必修授業で受けた外国語コミュニケーションのような感じで、ペアで教科書に書かれているトピックについて話したり、先生が指定したテーマでクラスディスカッションを行ったりしました。後半は、授業最終日に行うファイナルプレゼンテーションの発表準備が中心でした。

美術館や図書館などの公共施設を訪問して行われたものは、その施設内を見学して感じたことを書いたり、同じく見学している現地の人にインタビュー調査をしたりしました。

どちらも間違いを恐れずに、とにかく“話すこと”に重きが置かれ、最初は恥ずかしさもあってネイティブ先生や参加学生とうまく話すことが出来ませんでした。日にちを重ねる毎にその問題は解消され、拙くも頑張って話そうという気持ちが強くなりました。

授業は午前中 (12:10) までで、午後からはないので、参加学生同士で観光名所に行ったり、近くのカフェでランチを取ったりする人が多かったです。また、毎週火曜と木曜は放課後アクティビティがあり、プログラムの先生が引率して観光名所に連れて行ってくれるので、シアトルのどこに行ったら良いのだろうと迷ったらこのアクティビティに参加するのがおすすめです。最後の週に参加したアクティビティで食べたアイスの味が今でも

忘れられません。

プログラムの先生方は皆フレンドリーで優しく、私たち日本人学生の英語を理解しようとしてくださるので、安心して英語を話せる環境が常にありました。

(2)ワシントン大学での生活体験、シアトル都市の様子、さらには次回の参加者に伝えたいこと等

↓シアトルで1番大きい Pike Place Market



ここでは私がシアトルに3週間滞在した中で驚いたこと、感心したことについて挙げて行きます。1つ目は雨の多さです。滞在した期間が雨季だったこともあり、毎日雨が降っていました。雨と言ってもほとんど小雨程度でしたが、それでも折り畳み傘は必需品だと思います。慣れない生活に加え、毎日雨ばかりで気が滅入る時もありましたが、その分晴れた時の喜びは大きく、太陽の有難さを実感しました。梅雨のない北海道という地で生まれ育った私にとって、なかなかない経験でした。

2つ目は食文化です。日本とアメリカで食文化が違うのは当たり前ですが、いざそれを体験すると辛いものがありました。家庭によって違うと思いますが、私のホストマザーは年配の方で、食も細かったので、チキンだけ、スープだけ、ポテトフライだけ…という日がほとんどでした。どれも美味しかったのですが、1品だけというのはどうしても物足りなく、日本の食文化がどれほど優れているか痛感しました。

3つ目は治安の良さです。私が行く前に想像していたよりも治安が良く、現地の方も優しく協力的な方が多かったです。私が公共の図書館でインタビュー調査をした時も、事情を話すと「Sure!」と言って質問に答えてくれた方がほとんどでした。もちろん日本より治安が良いというわけではなく、コンビニ前でマリファナをやっている人がいましたし、ダウンタウンで乱闘騒ぎをしていて警察に取り押さえられている現場も目撃しました。ですがここは日本ではないという意識を常に持ち、夜間はなるべく外に出ない、人通りの多い所を歩くようにするなど心がけていれば危険な目には遭わないので安心してください。

3週間という短い間でしたが、良い環境の中で英語を学べたと心底思います。何から何まで日本と違い、最初は戸惑うと思いますが、最初の1週間を過ぎればきっと慣れていくはずです。そしてそこからの2週間はあっという間なので、後悔しないよう積極的に先生やホストマザーに話しかけることが大切です。